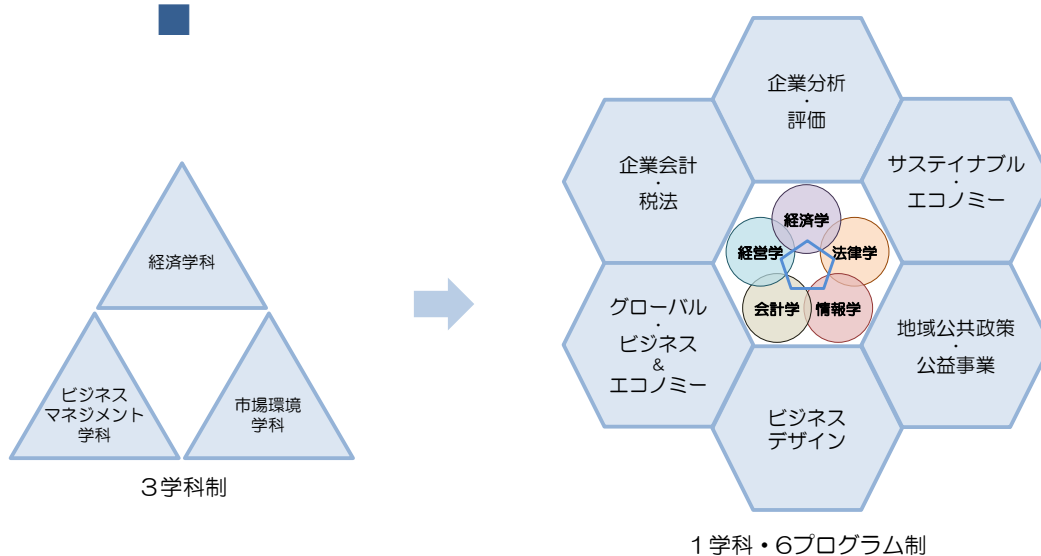


6プログラムで新たなステージへ

次々に生まれてくる最先端の社会・経済問題に対応するためには、専門的な知識を講義形式で学修することに加え、能動的(アクティブ)に課題解決を試みる学修機会が必要です。従来から、和歌山大学経済学部では、授業科目や履修方法の改善を行い、教育の質的転換に努めてきました。この取り組みをわかりやすく、より効果的に実施するために、3学科制から1学科6プログラム制に再編し新たなステージへ移行します。なお、この移行にともない、入学定員は330名から300名に変更します。

3学科制から1学科6プログラム制へ



3つの特徴

プログラムと進路

プログラムとは身につける能力・資質に応じて設定された、さまざまな学問領域をクロスオーバーさせた授業科目の集まりです。すべてのプログラムが社会で活躍できるプロフェッショナルへの道をめざすことを目的として設定されています。

学べる学問領域

1学科6プログラム制においても、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域の学修は必要です。それぞれの学問領域の授業科目をさらに体系的に履修することができます。

メンター(指導教員) キャリアカウンセラーによる導き

入学から卒業までの間、少人数での演習授業(基礎演習やゼミナール)を受けることができます。履修計画について考える際はメンターによる、進路について考える際にはキャリアカウンセラーによるアドバイスが受けられます。

アグリビジネス・ユニットの開設

学部教育と大学院教育を連携した既存のエキスパート・コースに、「アグリビジネス・ユニット」を開設します。農業の6次産業化などを視野に入れた実践型授業を提供し、アグリビジネス教育を強化します。3年次を終了した時点で一定の要件を満たせば、大学院経済学研究科に飛び級入学できます。